

みずほCustomer Desk Report 2016/07/20号(As of 2016/07/19)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	105.98 AUD/USD
TKY 9:00AM	106.18	1.1070	117.49	0.9830	1.3262	0.7575
SYD-NY High	106.53	1.1080	117.73	0.9878	1.3275	0.7590
SYD-NY Low	105.65	1.1000	116.58	0.9816	1.3075	0.7476
NY 5:00 PM	106.13	1.1023	116.97	0.9855	1.3110	0.7503
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	15.265/15.715		Δ25RR	1.113	Yen Call Over	
NY DOW	18,559.01	25.96	債券市場			
NASDAQ	5,036.37	▲19.41	日本2年債	-0.3190	1.1bp	
S&P	2,163.78	▲3.11	日本10年債	-0.2190	0.6bp	
日経平均	16,723.31	225.46	米国2年債	0.6898	0.0bp	
TOPIX	1,331.39	14.29	米国5年債	1.1103	▲2.1bp	
シカゴ日経先物	16,680	0.00	米国10年債	1.5526	▲2.9bp	
ロンドンFT	6,697.37	1.95	独10年債	-0.0300	▲1.4bp	
DAX	9,981.24	▲81.89	英10年債	0.8010	▲2.3bp	
ハンセン指数	21,673.20	▲129.98	豪10年債	1.9200	▲7.0bp	
上海総合	3,036.60	▲6.97	為替市況	USD/CNH	6.7105	▲0.0002
USDJPY 3M Vol	13.23	0.12%		ドルインデックス	97.06	0.50
USDJPY 6M Vol	12.61	0.09%	商品市況	CRB指数	186.104	▲2.09
EURJPY 3M Vol	13.93	0.13%		NY金	1,332.300	3.00
EURJPY 6M Vol	13.47	0.06%		WTI	44.650	▲0.59
				Dubai Spot	42.73	▲0.93

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月19日	10:30	豪 豪準備銀行 議事録(7月分)	-	-
	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	6月 0.2%/0.5%	0.2%/0.4%
	17:30	英 CPIコア(前年比)	6月 1.4%	1.3%
	17:30	英 PPI産出(季調前・前月比/前年比)	6月 0.2%/-0.4%	0.2%/-0.5%
	18:00	独 ZEW調査(現状/期待)	7月 49.8/-6.8	51.8/9.0
	18:00	欧 ZEW調査(期待)	7月 -14.7	-
	21:30	米 住宅着工件数	6月 1,189K	1,165K
	21:30	米 建設許可件数	6月 1,153K	1,150K

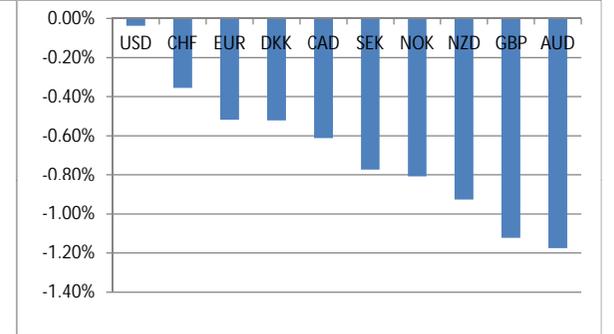
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月20日	09:30	豪 ウエストバック景気先行指数(前月比)	6月 -	0.21%
	17:00	欧 経常収支(季調前/季調後)	5月 -	€36.2B/€34.0B
	17:30	英 失業率/ILO失業率	6月 2.2%/5.0%	2.2%/5.0%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請件数	-	7.2%
	23:00	欧 消費者信頼感(一次速報)	7月 -8.0	-7.3

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	前週末にトルコで発生したクーデターは未遂に終わり、収束したことで市場のリスクセンチメントが改善する中、ドル円はシドニー時間に106.33まで上昇。しかし、その後は上値追いの展開とはならず106.18レベルまで下落して東京時間オープン。高寄りした日経平均株価が上げ幅を削る展開に、ドル円は106.00を下抜けし105円台後半で推移。午後には上値の重さが意識される中、じりじりと値を下げ、安値105.65をつける。しかし、明確な方向感が出るほどの材料はない環境下、引けにかけて日経平均株価が上げ幅を拡大したことでドル円は106円台を回復する場面も見られた。結局、ドル円は105.87レベルにて海外に渡った。(東京 15:30)
シドニー	ロンドン時間のドル円は上昇、105.87レベルでオープン後、ややドル買い優勢となり106円台前半で推移。しかし、シドニー時間の高値106.33を上抜けるほどの勢いはなく、106.18レベルでNYに渡った。ユーロドルは下落、1.1077レベルでオープン。独10年債利回りが急低下したことを受けて1.1050まで低下。一旦は自立反発的な動きから値を戻したものの、発表された独7月ZEW調査(現状)は49.8と予想(51.8)比下振れし、節目である50を下回ったことからユーロドルは軟調推移。午後には「FED当局者、年末までの利上げに自信、早ければ9月にも」との報道を受けたドル買いが持込まれたことも相場の重石となった。結局、ユーロドルは1.1031レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルーパー 00531 444 179)
ニューヨーク	ドル円は、106.18レベルでNYオープン。朝方は、米系企業が顧客を中心に実施したアンケートで、今月末の日銀会合での追加緩和を予想する向きは回答者全体の70%と伝わったことや、米6月住宅着工件数が予想を上回ったことなどから、高値106.53まで上昇する。しかし、米株式市場が高値警戒感から小幅に下落する動きや、トルコのアンカラで爆発と伝わりリスクセンチメントが後退すると、106.09まで反落する。その後爆発ではなく、火事と伝わったものの、株式市場がマイナス圏で推移する中、105.96まで下落する。午後に入り、105.87まで下落する局面もあったものの、終盤に掛けてNYダウが切り返し史上最高値で引けるとドル円は連れ高となり、106.13レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1031レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が暫く続くが、アンカラで爆発との噂を受けた地政学リスクの高まりに、1.1000まで下落する。午後は狭いレンジでの推移が続き、1.1023でクロスした。(NY 00531 113 682井上)

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.50-106.80	1.0900-1.1050	116.50-117.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場は、米企業決算が好調で、発表された米CPI・PPI共に市場予想を上回る数字にドル買いが進み、ドル円は106円半ばを超える上昇。しかし、トルコのアンカラで爆発との報にリスク回避の円買いとなり、106円前半まで下落。その後、爆発ではなく火事だったと伝わったものの、米株が前日比マイナス圏突入に106.00割れ。NY後場にかけては、米株が切り返したこともあり、ドル円は106円台回復で引けた。本日は、好調な米経済をバックに米利上げ期待や日銀追加緩和期待も高まっていることで、ドル円の下値は底堅い展開ではあるが、EU離脱国民投票後の高値圏内であり、実需筋の売り意欲も強いことから、上値も限定的と予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。